

浴槽・風呂釜の苦情として、入浴剤が原因とされる誤認事例1

入浴剤が原因とされる誤認事例の状態・原因及び、回復方法をご参照ください。

石けんカス(金属石けん)の浴槽への付着

状 態	浴槽の縁や内側(水面付近、底部など)に汚れが付着して白っぽく見える。
原 因	<p>水道水に含まれる珪酸分やカルシウムイオンと、脂肪酸(石けんの成分、人間の体から出る皮脂にも含まれる)が結合してできた、石けんカスと呼ばれる汚れが浴槽の縁などに付着したもの。→ (写真1)</p>  <p>写真1</p> <p>セメント剤中のカルシウムイオンと脂肪酸が結合してできた、石けんカス(白い固形物)が排水口周辺に固着。→ (写真2)</p>  <p>写真2</p>
回 復	<p>付着後すぐならば、中性の浴室用洗剤で比較的楽に落せるが、乾くと浴槽・タイルなどの材質への付着が強くなる。このような石けんカスの付着が重なると、材質に固着して落とすことが困難となる。</p> <p>このような場合には、中性の浴室用洗剤をキッチンペーパー等にしみこませ、白くなった部分に5分程度貼って汚れをゆるめたのち浴室掃除用のスポンジでこすり落とす。</p> <p>落ちにくい場合は浴室用のクリームクレンザーを使用する。 ※FRPや人工大理石など浴槽が樹脂系の素材の場合は、柔らかく傷つきやすいので強くこすりすぎないように気をつける。</p>

浴槽・風呂釜の苦情として、入浴剤が原因とされる誤認事例2

もらいサビの浴槽への染着

状態	浴槽の底部などに斑点状のサビがシミついて落ちない。
原因	貯水タンクや水道管からの鉄分が浴槽表面に固着し、空気中の酸素により酸化して黄～赤茶色になってしまったもの。錆びた鉄粉などが外部から付着してシミついた場合もある。 浴槽の縁やカウンターの上などにヘアピンを放置するとサビが発生してシミついてしまうケースがあるが、これも同じ現象である。
回復	浴室用洗剤では除去が難しい。浴室用のクリームクレンザーを使用する。 ※FRPや人工大理石など浴槽が樹脂系の素材の場合は、柔らかく傷つきやすいので力を入れず丁寧に擦るよう注意する。 上記方法で回復できない場合、衣料用還元系漂白剤を利用して、酸化した鉄分を還元して落とす方法がある。 ・衣料系の還元系漂白剤が使用できる浴槽の材質：タイル、FRP、ホーロー等 ・衣料系の還元系漂白剤が使用できない浴槽の材質：ステンレス等金属材質

参照サイト：日本浴用剤工業会 浴槽・風呂釜への影響

銅石けんの浴槽への染色

状態	浴槽の喫水線付近などにブルーの染着。
原因	入浴剤の色素が染着したものと誤解されやすいが、原因は「銅石けん」と呼ばれる、湯沸し水中に含まれる銅イオンに由来するものである。給湯器の熱交換器に銅が使用されている場合、銅イオンが水中に溶出する可能性がある井戸水など水源のpHが低い場合は銅イオンの溶出量が多くなりやすい。 銅イオンが含まれた水に脂肪酸(浴槽の湯垢汚れ、皮脂汚れ)が関与すると銅石けんが生成される。一般には銅イオンは目立たないが銅石けんに変化すると鮮やかな青色を呈する。
回復	以下の手順で除去を試みる。 1)中性の浴室用洗剤で染着部分をキッチンペーパー等にしみこませ、5分程度貼ってから浴室掃除用のスポンジでこすり落とす。 2)薬局等で入手できるアンモニア水(10%溶液)を不要になった衣料などに浸し、染着部分をよく擦り落とす。 【代替法】市販の油污れ専用洗剤(弱アルカリ性～アルカリ性)でキッチンペーパー等にしみこませ、5分程度貼ってから浴室掃除用のスポンジでこすり落とす。

参照サイト：日本浴用剤工業会 浴槽・風呂釜への影響